

「改訂新版 気象予報士かんたん合格テキスト
＜学科専門知識編＞」正誤表 改訂新版 第3刷

技術評論社 書籍編集部

書籍の内容に誤りのあったことを、本書をお買いあげいただいた読者の皆様および関係者の方々に謹んでお詫びいたします。

(2020年10月20日更新分)

p.293 上から3行目

誤	(b) は誤り。
正	(c) は誤り。

p.561 上から10行目

誤	平成23年度台風23号の豪雨(100人近い死者)など
正	平成23年度台風12号の豪雨(100人近い死者)など

p.580 図12-1

誤	●新居浜市 ▲四国中央市
正	●四国中央市 ▲新居浜市

(2019年6月5日までの正誤表)

p.31 上から3行目

誤	2007年7月25日に
正	2007年8月16日に

p.50 下から 1 行目

誤	0.00mm と表記します。
正	0.0mm と表記します。

p.131 上から 10 行目

誤	湿度の観測を行います、気温が -40°C 以下になると観測を行いません。
正	削除 (改定のため)

p.154 下から 8 行目

誤	パルス幅 $2.5\mu\text{m}$ (マイクロメートル) で、
正	パルス幅 $2.5\mu\text{s}$ (マイクロ秒) で、

p.162 下から 3 行目

誤	強い上層気流
正	強い上昇気流

p.164 下から 6 行目

誤	平均電波強度
正	平均受信電力

p.165 下から 5 行目

誤	平均電波電力
正	平均受信電力

p.169 上から 6 行目

誤	格子粒子の表面積を
正	降水粒子の表面積を

p.171 下から 14 行目

誤	目標の格子
正	目標の降水

p.172 コラムの上から 1 行目

誤	実況の観測地と比較して
正	実況の観測値と比較して



p.173 上から 3 行目

誤	平均電波電力
正	平均受信電力



p.173 上から 6 行目

誤	平均電波強度
正	平均受信電力

p.183 図 3-18

誤	
正	 <p>右側の「弱」を「強」に訂正</p>

p.185 図 3-19

誤	
正	 <p>右側の「弱」を「強」に訂正</p>

p.203 下から 7 行目

誤	電波の周波数偏移のずれ（かんたんにいえば…
正	電波の 周波数偏移 （かんたんにいえば…

p.219 上から 6 行目

誤	赤外放線
正	赤外 放射

p.222 上から 8 行目

誤	寒気の下降と下降流が強まります。
正	寒気の 南下 と下降流が強まります。

p.242 下から 9 行目

誤	波長が $1\text{m} \sim 1\mu\text{m}$ 、周波数が
正	波長が $1\text{m} \sim 1\text{mm}$ 、周波数が

p.259 「8 数値予報は鉛直 P 速度で鉛直流を表す」の上から 1 行目

誤	鉛直 p 速度で行います。
正	鉛直 p 速度で 表します 。

p.259 「8 数値予報は鉛直 P 速度で鉛直流を表す」の下から 5 行目

誤	なお、等圧面上（あるいは地上では）において
正	なお、 等高度面 （地上でもよい）では

p.265 下から 3 行目

誤	2 倍の時間が必要です。
正	2 倍の 計算量 が必要です。

p.265 下から 2 行目

誤	空間処理に 4 倍
正	格子間隔半減処理に 4 倍

p.295 下から 5 行目

誤	7 日間以内
正	2 週間以内

p.302 青帯の見出しの上の※の一文

誤	活動度 1 以上
正	活動度 2 以上

p.359 コラム 下から 5 行目

誤	日本周辺まで東の尾根が張り出し、
正	日本付近の東まで気圧の尾根が張り出し、

p.412 問 1 選択肢⑤

誤	⑤ (a) = 30 (b) = 31
正	⑤ (a) = 30 (b) = 33

p.438 上から 6 行目

誤	地上面摩擦
正	地表面摩擦

p.447 試験のポイント 上から 2 行目

誤	暴風雨域
正	暴風域

p.466 上から 6 行目

誤	非常に降水強度が
正	非常に強い降水強度が

p.489 下から 6 行目

誤	上昇流域が
正	上昇流が

p.489 下から 5 行目

誤	下降流域が卓越
正	下降流が卓越

p.501 下から 5 行目

誤	西日本以西と東日本以西で
正	西日本以西と東日本で

p.590 下から 4 行目

誤	地衡風 > 低気圧性曲率という
正	地衡風 > 低気圧性傾度風という

以上